

第20回がん体験共有会開催のご案内

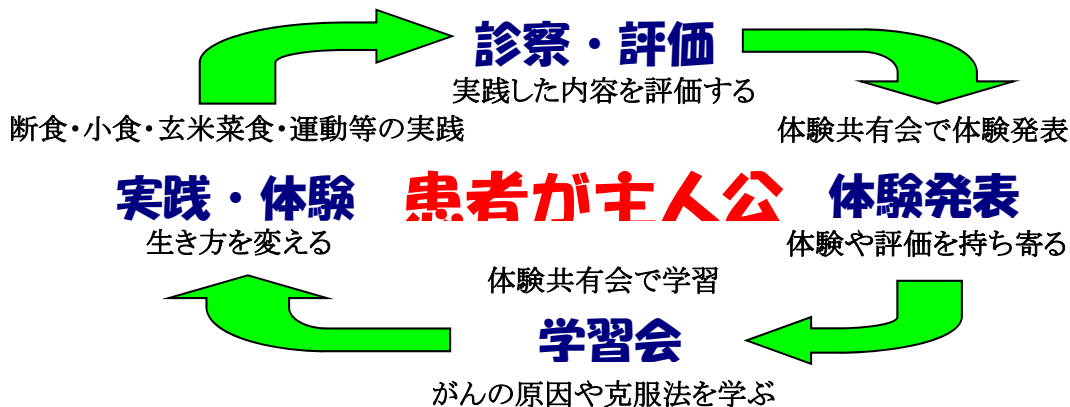
がんは生活習慣病。当会は自らの生活習慣・生き方を変えることによってがん克服を目指す人たちの学習会です。がん患者やその家族が毎月集まって下図のようにがんを克服した人の体験や、お互いの体験に学び合います。学んだことを実践体験し、その効果を医療機関で検査し、その結果を持ち寄って、会で発表・共有します。

その環を廻し続ける中で、自分に合ったがん克服法・生き方を見出そうという会が「がん体験共有会」です。がん患者やその家族であればどなたでも参加できます。

患者が主人公の医療の実現「がん体験共有会」

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

オーリングテストによる検査・サポート



- 開催日時 : 毎月第2金曜日13:30～16:30
内容 : 学習 2時間 自己紹介・体験発表 1時間
開催場所 : 男女共同参画センター「アミカス」西鉄高宮駅構内
参加料 : 1000円 ・ 定員 50名(実習の時20名、要事前申込)
申込み先 : 会の世話人代表 山口(090-8835-5736)
参加資格 : がん患者又はその家族、世話役が認めたサポーター

※第20回例会のご案内

① 日時:7月12日(金) 13:30～16:30、会場・参加料などは上記の通りです

② 卓話 13:30～15:30 卓話者 山口勝己(72才)

テーマ:「がんの呪縛を解く」

私は2009年10月初期胃がんを告知され、胃の2/3切除を勧められました。切除せずに検査だけを受けていますが、がんは大きくなり、元気で毎日を過ごしています。

9年前に実兄を大腸がん、7年前に義兄を食道がんで失った時の治療が頭から離れず、更に7年前、妻は腎臓がんで右腎を摘出しましたが、抗がん剤は拒否して、食養生などで再発・転移することなく元気であることが、私自身がん医療を拒否しようと決めた大きな理由です。

実兄ががんで死したときから、私とがんと縁が深まり、義兄や妻など身内が次々にがんにかかると共に、がん患者会のお世話を通して、たくさんのがん患者さんとの出会いを経験してゆくようになりました。更に導かれるようにオーリング医療や西式医療、千島・森下学説、マクロの食療法、魂の学・観術などの心の分野まで、幅広い関連分野の医療者や専門家に出会い、理解が深まった上でのわたし自身のがん体験でした。

従ってがん告知に対する不安・恐怖は全然なく、今まで学んだことをわが身で体験できるという喜びでいっぱいでした。何故がんは怖くないかを私の体験をもとにお話します。

③ 自己紹介・体験発表 15:30～16:30

がん体験共有会

世話人代表 山口勝己